

平成31年度（2019年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目（単位数）	生物（1）	学年	3	類型	文Ⅰ
----	----	---------	-------	----	---	----	----

学習目標	日常生活や社会との連携を図りながら生物や生命現象への関心を高め、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
------	---

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考査	生物基礎 第3部 第1章 1 体液とその循環 2 体液の調節	・体内環境が保たれていることを理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間 ～期末考査	生物基礎 第3部 第2章 1 自律神経による調節 2 ホルモンによる調節 3 自律神経とホルモンの共同作用	・体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末 ～2学期 中間考査	生物基礎 第3部 第3章 1 免疫とは 2 自然免疫	・免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間 ～期末考査	生物基礎 第3部 第3章 3 獲得免疫	・免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末 ～3学期 学年末考査	生物 第1部 第3章 1 遺伝情報とその発現	・DNAの複製の仕組み、遺伝子の発現の仕組み及び遺伝情報の変化を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
3学期 学年末考査 ～年度末	生物 第2部 第1章 1 有性生殖 2 遺伝子の多様な組み合わせ	・減数分裂による遺伝子の分配と受精により多様な遺伝的な組み合わせが生じることを理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 （教科書・副教材）	「生物基礎 改訂版」「生物 改訂版」啓林館
学習方法	授業と復習 （予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること）
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み